

## 検討作業班の改組について（案）

現行の「生態影響評価のための動物試験法検討作業班」には、「試験全体のフレームワーク及び個別の物質について実施する試験法の選定について検討を行う」ことをお願いしてきた。

これまで行ってきた検討に加え、新たに試験結果の信頼性評価、各段階におけるリスク評価等を実施するため、同検討作業班を発展的に改組することとしたい。

### 1. 名称

「内分泌かく乱作用に係る生態影響評価検討班」

### 2. 新検討班の検討事項

- ・ EXTEND2010 の下での生態影響評価のフレームワークの確立
- ・ 個別物質について実施する試験法の選定、試験実施条件の確認等
- ・ 試験結果の信頼性評価
- ・ 各段階におけるリスク評価等の実施

### 3. 新検討班の委員構成（敬称略）

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部食健康科学科教授
井口 泰泉	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター生命環境研究領域教授
川田 邦明	新潟薬科大学応用生命科学部教授
小林 亨	静岡県立大学環境科学研究所教授
小山 次朗	鹿児島大学水産学部海洋資源環境教育研究センター教授
茂岡 忠義	横浜国立大学大学院環境情報研究院客員教授
白石 寛明	（独）国立環境研究所環境リスク研究センター長
鑪迫 典久	（独）国立環境研究所環境リスク研究センター環境リスク研究推進室主任研究員
山本 裕史	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授